



美味しい
苹果は
いかがですか？

こんにちは 議会です。

169号/R2.11月発行

発行/添田町議会

編集/議会広報常任委員会

福岡県田川郡添田町大字添田151番地

☎ 0947(82)4001 FAX 0947(82)2869

ホームページ <http://www.town.soeda.fukuoka.jp>

みなさんとの架け橋

虹

このページはみなさんの声で作るページです。
議会傍聴者に限らず、議会に対するご意見や議会だよりの感想などもお待ちしております。
メールやFAXでお気軽にお寄せください。



今回は
「英彦山観光りんご園」の
星野沢人さんに
インタビューしました

* 議会だよりは
読んでいますか？
読んでいません。

* その他
仕事の後継者を
どうやってつくるか、
悩んでいる。

* 添田町の好きなところは？
景色が良くて平和なところ。
人がとても優しい。

* どんな町になって
ほしい？
添田町は今のまま
でいい。

* 議会に望むことは？
歓遊舎を盛り上げて
ほしい。

編集後記

コスモスの花が風に揺れていきます。また秋も深まってきました。
新型コロナウイルスの影響で、人と会って話すことが少ない中、議会だよりは添田町議会の取り組みを伝える大切な役割を果たしています。

添田町のさまざまな事をわかりやすく、身近に感じていただける内容に
委員 高瀬 知恵子
委員 吉木 清文
委員 永沼 嘉代子
副委員長 武貞 裕
委員長 久保田 実生
議会広報常任委員会

するよう広報委員会では
心がけています。私は、今
回から広報委員になりました。よろしくお願ひ
いたします。(高瀬)

表紙の紹介

英彦山観光りんご園

英彦山の中腹で、約700本11種類のリンゴを栽培し、
歓遊舎などの他、現地直売もしています。
8月から11月下旬の期間は、人気の「リンゴ狩り体験」
も開催しています。秋にはモミジが、とてもきれいで
すよ(^^)是非一度遊びに来てください。
[営業時間]10時～16時 [定休日]不定休

おすすめの 商品



新鮮なリンゴで
作ったドライアップル
フルーツや、できたて
のリンゴジャムなど、
どれもとてもおいしい
ですよ！

リンゴで作った商品もたくさん！

問い合わせ先 TEL090-5732-7783
(場所: 英彦山 別所駐車場から車で2分)

表紙のお店大募集!

表紙のテーマは添田町の一次産業の応援です。
応募は議会事務局(82-4001)まで♪お待ちしております。

ご意見・ご感想をお寄せください FAX 82-2869 E-mail: gikai@town.soeda.fukuoka.jp

169号 R2.11月発行

聴かせて!住民の想い ————— 2
新たな防災対策を ————— 4
1000人にきく!アンケート ——— 14

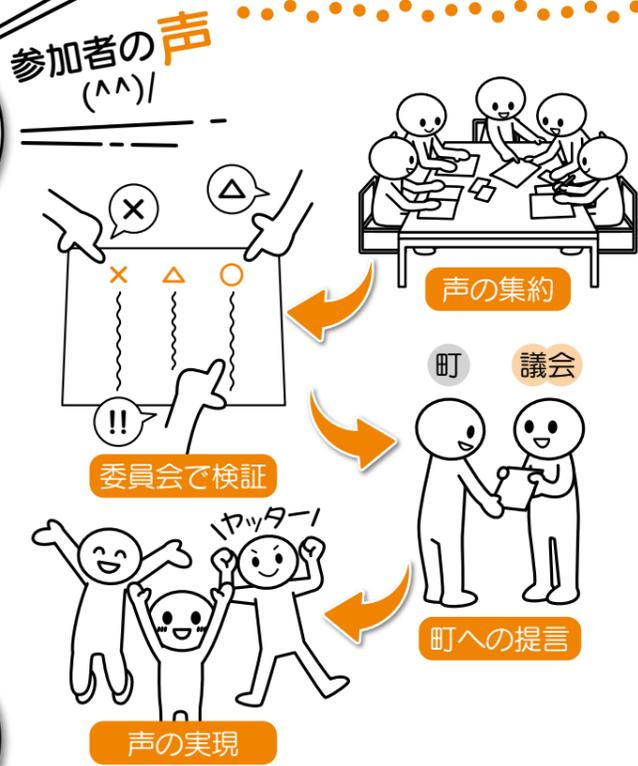
表紙の紹介は最終ページへ

第2回 住民と議会のカタリ場 ～未来会議～を開催

in 中元寺



- 13日…中元寺公民館
- 14日…彦山地区総合センター
- 15日…津野公民館
- 16日…オークホール



今後の手順 聴いた声を活かす

参加者の声 (^^)/

人の考えも知れ、とても楽しかった(6人1組も丁度よい)。選挙が町の事を考えるキッカケになればいいな。

山本 直子さん(中元寺)

思いを伝えることができ、有意義な時間だった。今後も努力を重ね、町のため尽力願いたい。

石井一樹さん(中元寺)

雰囲気良く、話しやすくて大変良かった(満足度100%)。

塚本 久子さん(添田東)

1 議会からの説明

13日に中元寺公民館でカタリ場を開催しました。この日は15名の住民が参加し、それぞれが各テーマに分かれて対話を行いました。

地域固有の話や、町政全般に関係することなど様々な話を聞くことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今後は頂いた意見を議会で検討し、提言につなげていきたいと思えます。

2 楽しいテーブルトーク

3 内容の共有

10月13日から16日の4日間、町内の4公民館で69名の住民の皆さんと対話を行いました。議会からの説明、フリートーク、議員定数など、いろいろな話を聞くことができました。

参加者のアンケート(4会場分)

アンケート回収 計68人

アンケート結果 良かった45人

まあまあ良かった23人

参加者の声

- *大変貴重な会でした。
- *いろいろなと勉強になった。
- *職員数を議員に調整してほしい。
- *いろいろな発想を知れて楽しかった。
- *町長の仕事を監視してほしい。
- *未来の子ども達のため明るい施策を。

振り返り

今回は、皆さんから頂いた声を反映し、年1回1会場開催から、各地区4か所での開催に拡大しました。

今後も議会一丸となり住民の皆さんの声を聴き、その声を町政に反映させるよう改革を進めたいと思っています。

彦山地区総合センター

津野公民館

オークホール

対話の内容 聞いてみよう

いろいろな声が聴けたよこー

ひこちゃん

- 教育**
 - *学校の統廃合はどうなったの。
 - *統廃合の意向は住民には伝わらない。
 - *小、中学校は別にできないか。
- まちづくり**
 - *施設の廃止ばかりではダメ。
 - *町に引越したい人はいるのか。
 - *町には観光の目玉が無い。
 - *ダムでポートレースをしてみては。
 - *自然を活かした施策をしてほしい。
- 意識改革**
 - *役場職員のやる気が見えない。
 - *すべての委員会を傍聴可能に。
- コロナ対策**
 - *町の対策が早かった。
 - *感染者は出たのか。
- 議員定数**
 - *少なくなると活動できない。
 - *人口9000人だが9人は少ない。
 - *2人くらい多い。
 - *今の議員の方が頑張りが見える。
 - *11人が適当と思ったが、対話をして12人でよいと思った。
 - *数を減らせば、やる気が出るのでは。
 - *焦って定数を決めるべきではない。
 - *現状(13人)が妥当。改革できるなら人数は関係ない。
 - *13人でよい。町が広大だから。
 - *そもそも議員をよく知らない。
 - *住民と議員に距離がある。



たび重なる災害

新たな防災対策を!



民営化する錦風荘

本町の錦風荘と特養そえだの設置条例を廃止しました。この2施設は来年度の4月から民営化し運営します。

公募では2社が応募し、それぞれが提出した収支計画や経営状況などに基づき、有識者と町執行部が厳正な審査を行いました。その結果、社会福祉法人「光和苑」が運営することに決定しました。

設置条例の廃止

その他の議案

戸別受信機は、小型ラジオ程の大きさで、各家庭に1台(約4140台)と、町内事業所などに250台を設置する計画です。戸別受信機の設置時期は、R3年夏の予定で、設置後は、「防災無線」を整備します。

本町では、たび重なる災害対策として、屋外に「防災無線」を設置し、音声による避難勧告などの対応を行っています。しかし雨天時には聞き取りにくいことや、地形的な問題で聞こえないなど、課題も確認しました。この課題を解決し、より早く確実に緊急時の情報を伝えるため「戸別受信機」を整備します。

戸別受信機整備工事費

2億2653万円

一般会計補正予算

9月議会を7日から18日までの12日間開催しました。今回の議案は報告3件、条例5件、予算5件、契約1件、認定6件、同意1件、その他2件が提案され、全て可決しました。

田川広域環境衛生組合の設置

R4年4月、大任町に新たに「し尿処理施設」が完成する予定です。この施設の設置に伴い、今回「田川地区広域環境衛生施設組合」を設立します。

この組合には田川市郡の8市町村が参加し、し尿処理施設の管理運営や、総合的な調整などを行います。

また、各市町村から選出された26名の議員で議会を置き運営する予定です。添田町からは3名の議員を選出し、この組合に参加する予定です。



線と戸別受信機」による、より安全安心な防災対策を進めます。

●R2年11月～工事実施
●R3年夏 試験運用開始

グリーンスローモビリティ

229万円

過疎地や観光地の移動手段として、安全で小回りのできる「グリーンスローモビリティ」の試験導入をします。11月から英彦山地区、深倉地区での実証実験を行います。



英彦山での試乗会

岩石山サイン整備

153万円

岩石山の登山道にある、古くなった看板の整備を行います。

意見書

地方財源の確保を

新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、限られた財源の中で地方自治体は、さらに厳しい運営を強いられます。本町も自治体を運営するための主要な財源である「地方交付税」などの安定的な確保を求める意見書を国に提出しました。

契約

工事の契約

相手 株式会社 浦野組
内容 朝日ヶ丘団地建替事業 建築工事(第2期)
金額 3億5266万円

任命

●教育委員会委員の任命
諫山 哲朗さん (任期4年)

▼十分検証している。民営化が望ましい。

▼福祉施設は民営化するべきではない。

▼医療福祉関係者の支援金は十分に検討した上で決定。支援が必要。

▼医療福祉関係者の支援金は、国からもある。二度目の補助は不必要。戸別受信機は上手く運用できるのか。もっと計画を練るべき。

討論 白熱した討論

賛否が分かれた議案

畠田議長は採決に加わりません。ただし、賛否同数時のみ表明し、議案の可否を決定します。

賛成：○ 反対：▲

議案名	議員名	緒方	久保田	吉木	岩本	高瀬	合戸	山本	永沼	武貞	中嶋	小川	白石	畠田
注目1 一般会計補正予算(第8号)を定めること		○	▲	○	○	○	○	○	▲	▲	○	○	○	-
注目2 設置条例の廃止(養護老人ホーム錦風荘)		○	▲	○	○	○	○	○	▲	▲	○	○	○	-
設置条例の廃止(特別養護老人ホームそえだ)		○	▲	○	○	○	○	○	▲	▲	○	○	○	-
決算の認定(令和元年度一般会計)		○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※表記は正式議案名ではありません ※上記以外の議案は全会一致で可決しました

令和元年度決算

認定

- ◆ 一般会計
- ◆ 国民健康保険事業特別会計
- ◆ 後期高齢者医療特別会計
- ◆ 住宅新築資金等貸付事業特別会計
- ◆ バス事業特別会計
- ◆ 水道事業会計



改修が進む中島家

問 歴史の町としてのこれまでの事業の進み具合は。

答 これまでの事業の計画通りになっていないものもあります。

指摘 計画の見直し、実施できる事業を着実に進めること。

問 元年度の決算を審査し認定しました。各項目ごとに質疑応答を行い、今後の予算作成に活かすよう指摘しました。主な内容は次の通りです。

問 滞納の徴収

答 対応は評価できる。今後の取り組みは、勉強会に参加。質の向上を図ります。より効果的な対策の実施を。



参加者が増えた英峰日進塾

問 英峰日進塾 対象は、添田小の児童だけですか。

答 現在、真木小も参加しています。

指摘 他3校の児童への声かけを。



みんなで行こう 歓遊舎

問 利用者、売上は減少していますか。

答 新型コロナウイルスの影響でより厳しい状況。生産者を育成し、ニーズに合った品揃えを。

問 団体助成金の削減

答 団体助成金の見直しは、毎年4%の削減を実施しています。事業の検証を行い、更なる削減を。

一口メモ

水道ビジョン

安全・良質な水の安定、安価な供給を維持するため、今ある課題を分析検討し、目標となる将来像を作ります。令和2年度から策定中

問 人口減少を見込んだ運営は。

答 早期に水道ビジョンを策定したい。持続可能で安定的な企業経営を。

問 国土調査 調査の進み具合はどうですか。

答 全体の4.3%しか完了していません。計画的・効率的に進め、迅速な実施を。

第2次コロナ対策支援事業 総額 3億6135万円

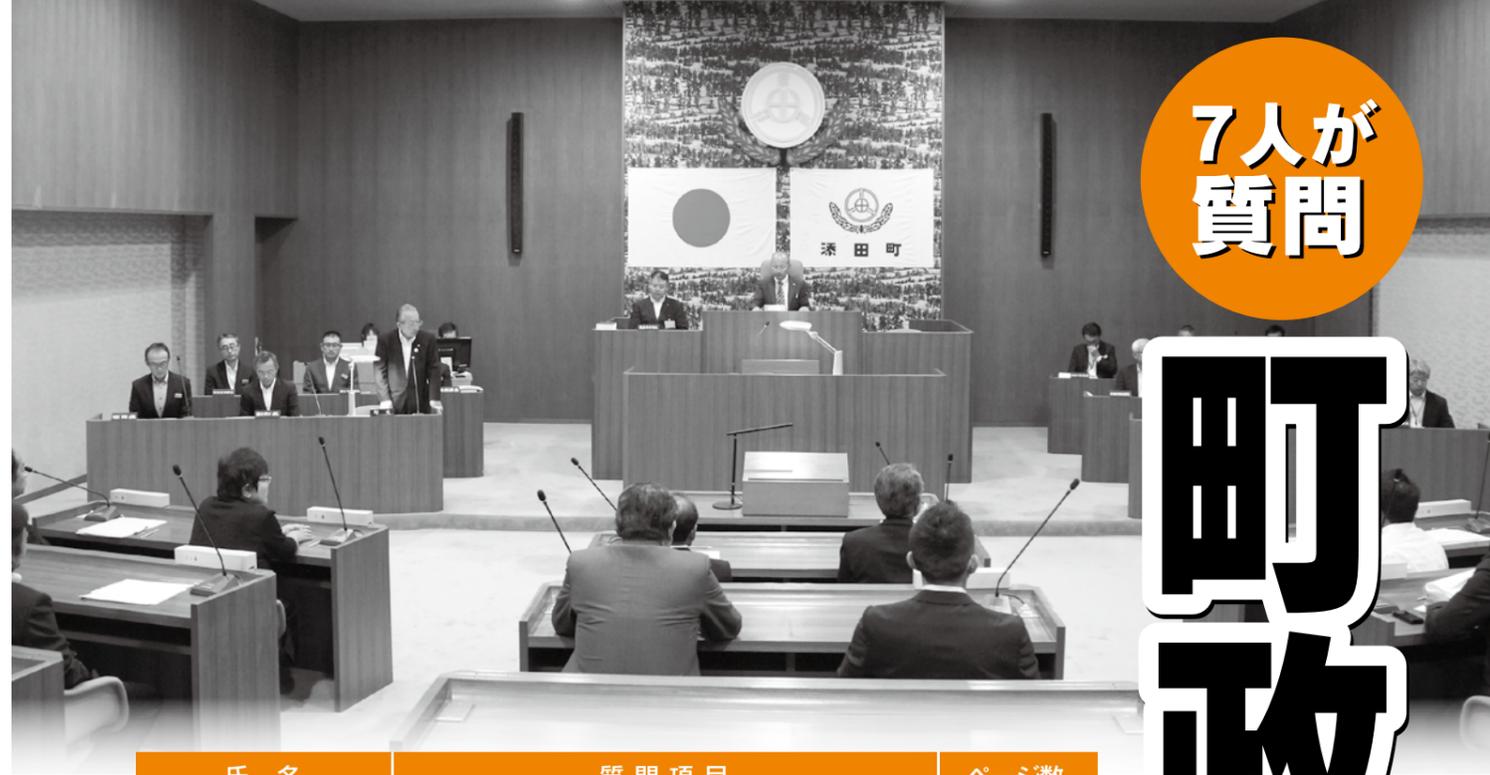
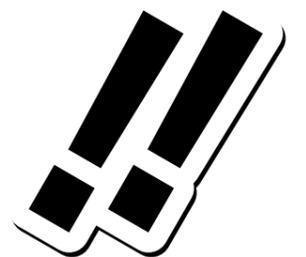
事業名	事業内容	費用(予算額)
生活	生活支援商品券	町民の生活支援と地域経済活性化のため一人1万円の商品券を支給する。 1億671万円
福祉	インフルエンザ予防接種助成	高齢者(65才以上)無料。 590万円
	福祉医療従事者支援金	医療・福祉施設、保育所、学童、幼稚園、障がい者支援施設等。(5千円・1万円) 1588万円
事業者	感染防止対策店等支援	コロナ対策に伴う店舗改修や物品購入費の助成。(上限30万円) 9217万円
	物産販売促進	歓遊舎の有料遊具、夏休み期間無料開放。 済 273万円
	花と野菜の流通促進	市場・共同集荷等の集荷手数料の一部を助成。50%助成(上限30万円) 641万円
	ふるさと物産販売促進	物産サイトによる産地直送や都市圏におけるアンテナショップ開設を支援。 1339万円
学校教育	タブレット整備	全児童・生徒に一人一台のタブレットを用意。タブレット授業を行うための環境整備。 3720万円
	就学援助費	家計が急変し、苦しくなった世帯への支援。 83万円
	修学旅行支援	密を避けるための追加バス借り上げ。 76万円
	給食調理室のエアコン	夏休み短縮に伴う給食室の環境整備。 済 455万円
防災	サーモグラフィ設置(体温チェック)	役場庁舎・オークホール・学校・図書館・歓遊舎・スロープカー、計14台。 1116万円
	避難所整備	折畳マルチマット・毛布・パーテーション(間仕切り)。 280万円
	公共施設高度無線化	公衆Wi-Fiを整備。(避難所・公民館等) 1096万円
その他	行政区、団体への支援	地域活動を支援する。(行政区:30万円、町内団体:10万円) 1120万円
	網戸設置	換気のため、オークホール・図書館等に網戸設置。 132万円
	本の消毒機	図書館の本の消毒。 171万円

第2次新型コロナウイルス感染症対策を8月臨時議会および9月定例議会で決定しました。国・県の交付金に、

町の予算から2961万円を加えて総額3億6135万円を実施します。主な事業は表のとおりです。

7人が質問

町政を問いつ



氏名	質問項目	ページ数
山本 文隆	●ごみの減量化は	9ページ
中嶋 浩二	●今後の河川治水事業	10ページ
武貞 誉裕	●空き家のリノベーションコンペは ●川の不法投棄対策	11ページ
小川 浩一	●町内街灯の増設とLED化を	12ページ
高瀬知恵子	●職員提案制度の導入を	
久保田実生	●災害時のSNSの活用を	
永沼嘉代子	●新しい生活を考えた環境の整備	

議会・委員会を傍聴しませんか

議会は、まちの予算や身近な問題を話し合う大切な場です。皆さんもお気軽にお越しください。開催日程などは、議会事務局にお問い合わせください。

お問い合わせ 議会事務局 TEL 82-4001(直通)



添田町議会

山本 文隆議員

ごみの減量化は



動画へGO

町長 今後も減量化に取り組み

山本 ごみ処理先進自治体の徳島県上勝町では家庭系ごみを34種類に分類、ごみの減量化を推進しています。本町では、平成25年度から5か年計画で、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進しています。平成31年度の目標は、ごみ収集量2700t、資源化率5%とじていました。2点尋ねます。

①31年度の収集量と資源化率の実績

②今後の3Rの取り組み

町長 分別収集など住民の協力をいただき、さらにごみの減量化に取り組めます。

保健福祉環境課長 ①31年度実績は収集量2819t、資源化率3・7%と未達成でした。

②今後は新設ごみ処理場の運営費の負担を減らすためにも、ごみの排出量の削減に積極的に取り組み、リサイクルも推進します。



山本 ごみの3Rは住民の意識やモラルにも関わることであり、仕組みや工程を作成し、本気でやらないと実現できません。町長のリーダーシップを發揮し、実施してください。

一口メモ

3R(スリーアール)

ごみを減らし、活かすための3つの言葉。英語で書くと頭文字がRです。

- リデュース:ごみの減量
- リユース:繰り返し使用
- リサイクル:資源に戻して利用

中嶋 浩二議員

今後の河川治水事業



動画へGO

町長 国・県の河川管理者に要望する

中嶋 本町は毎年のように豪雨に見舞われ、河川の氾濫や越水等により甚大な被害を受けています。災害に対して備えが必要です。日々の治水のため、定期的な河川浚渫工事が必要だと思いますが、考えを尋ねます。

町長 普段からの河川管理は、非常に重要と考えています。

彦山川は下流部から工事をしていたので、上流部の本町は遅くなる状況でしたが、強く要望した結果、上流部も工事が行われています。

中嶋 町が管理している河川は、毎年計画的に工事を行って、越水被害はあまり発生していません。国に対しても計画的な工事を強く要望してほしい。

また、土器橋下流部には堤防が少なく、民家も多数あります。堤防の設置を国に要望してはどうですか。



民家に迫る濁流(役場から見た土器橋)



町長 全体の状況等を見て要望していきたいと思えます。

武貞 誉裕議員

問 空き家のリノベーションは

町長 まずは空き家バンク登録者の増加を



武貞 議会広報委員会で見察した西脇市でも、空き家問題があります。ここでは空き家を利用した「空き家リノベーション」を行っています。家賃から用途まで自由に設定し、活用する方法を募集して空き家の活性化を模索する取り組みです。3点尋ねます。

- ①供給が追いつかない空き家バンクは、どう継続しますか。
②リノベーション補助は一定の効果があるが、今後は。
③リノベーションコンペで、新たな空き家活用をしてみても。



西脇市のリノベーション

川 の 不法投棄対策

町長 ①今後も供給を増やす対策をしていきます。
②まちづくりの観点からも、継続して推進していきます。
③まずは空き家バンクの登録増に努めたい。

武貞 ①町は不法投棄の現状を把握していますか。
②今後の対策は、期間を決め、ゴミ箱や監視員がいるのでは。
③現在の看板は効果がない。もっと効果のあるものを考えてみては。

町長 ①昨年の不法投棄は23件です。投棄ゴミから身元特定などもしていきます。
②河川の整備も含めて、目が届く管理方法なども検討したい。
③子どもがデザインするなど、効果あるものを考えます。

高瀬 知恵子議員

問 職員提案制度の導入を

町長 趣旨を十分理解して検討



高瀬 兵庫県小野市は「行政も経営」という理念のもと、職員提案制度を設けています。

この職員提案制度は、職員が日常業務を通して思いついたアイデアを受け付けるものです。まず職員が日ごろから絶えず問題意識を持ち、ゼロベースの発想で市の業務を見つめ直すという、職員の意識改革を促す手段としても運用しています。

また、提案の中から職員の投票などにより表彰する仕組みもあります。昨年度は1000件を越す提案がありました。

この制度を添田町にも導入してはどうでしょうか。導入により職員の声がちぎりに活かされるようになり、職員のやる気が高まります。ひいては町民の幸せにつながると思います。町長の考えを尋ねます。



小川 浩一議員

問 町内街灯の増設とLED化を

町長 計画的にLED化へ



小川 町内の街灯は少なく、暗くて怖い場所もあります。伊原のデイルーからめんべい工場の下、役場へ曲がる信号機のところまでは街灯が1基もありません。現在は、街灯本体が故障した時だけLEDへ移行しています。定期的に決まった台数を電気代の安いLED蛍光灯に替え、防犯の面からも増設が必要だと思いますが、いかがですか。

町長 防犯灯は、これまで夜間の交通事故、犯罪を防止するため、地域の要望に基づき必要な箇所に設置してきました。町内1025基のうち、325基がLED灯です。今後は、計画的なLED化を考えていかなければと思っています。

小川 人口も減り、地区によっては街灯の電気代の支払いにも苦勞するようなどころもあります。その地区だけではなく他の



屋でもうす暗い道

久保田 実生議員

問 災害時のSNSの活用を

町長 今後も検討

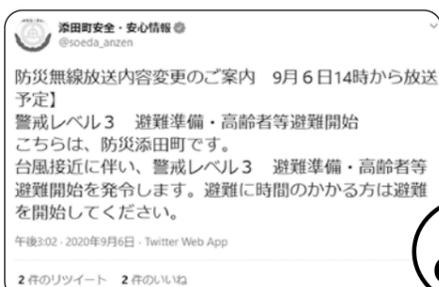


久保田 町は、ツイッター、フェイスブックを使い、防災情報を発信しています。しかし、タイムリーな発信ができていないなど課題があります。

災害時には、決められたことをやっていくことが求められます。SNSの活用は地域防災計画でどのように位置付けていますか。

町長 地域防災計画ではソーシャルメディアの活用として位置付けています。情報発信では、防災行政無線、緊急速報メール、ホームページなどで行っています。SNSの十分な活用はできていません。

久保田 災害時にすべきとなっているなら、職員の配置を、対応するものとなりますか。町長 災害対策本部で役割を位置付け対応しています。



ツイッターでも情報発信中



新しい生活を考えた環境の整備



動画へGO

町長 基本的対策とオンライン整備

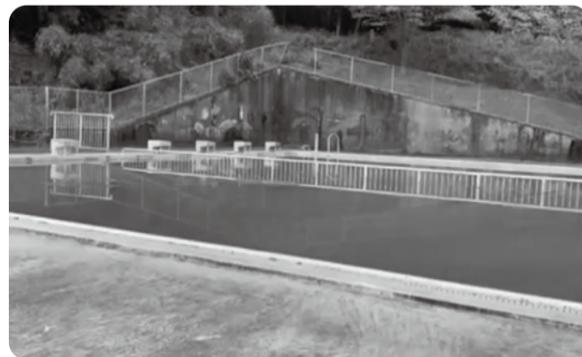


永沼 コロナ禍の中、保育園、幼稚園、小中学校、児童保育、障がい者施設、老人施設、病院等のあり方が心配されます。

児童保育所はこの夏、室内で密を避けて過ごすことが大変でした。また真木小、中元寺小、津野小、落合小の小規模校4校はプールの授業に取り組みましたが、添田小は児童数が多く、できませんでした。これらの状況をどう把握し、改善しようと考えますか。

また、このような中、少人数学級の要望が高まっています。密にならないためにも、学校の統廃合は中止し、小規模校を推進してはどうですか。

統廃合については、学校教育の変わらない本質である「人と人とのつながり、多くの児童が集まる多様な人の中で、切磋琢磨し学び合う」を重要なことと考えます。少人数学級編成も考慮し統合を実施したいと考えます。



来年は全校でプールの再開を

委員会構成かわりました

◎委員長 ○副委員長

専門的な調査・研究を行うための、各委員会で活動を行います。

総務文教委員会 定数7名

担当 総務課、まちづくり課、住民課、防災管理課、教育委員会、会計



久保田 武貞 緒方 白石 ○永沼 ◎小川 畠田

議会広報常任委員会 定数5名

担当 議会広報の編集発行、議会ホームページ、広聴に関すること



高瀬 永沼 ○武貞 ◎久保田 吉木

産業厚生常任委員会 定数6名

担当 地域産業推進課、保健福祉環境課、道路整備課、住環境整備課、水道課



山本 吉木 岩本 ○高瀬 ◎中嶋 合戸

議会運営委員会 定数5名

担当 議会運営、議長の諮問、委員会条例に関すること



中嶋 白石 ○小川 ◎高瀬 合戸

研修

議会の目指す姿は

8月31日、「これからの議会のありかた」をテーマに、第2回目の研修を初めてのオンラインで行いました。

講師は、廣瀬 克哉さん（法政大学副学長）です。

いかに、住民の関心度を高めるか！

研修を終えて

講演の主な内容

- 議会は自治体の意志を決定する「議事機関」として、その機能を十分に発揮すべき。
公開の場の議論を通して、住民と共有していくことが大事。
住民が「消費者」から、「自治体運営のオーナー」になることが大事。自治体は「つぶれないから安心」ではない。

住民との対話を通して、自治体政策に対する住民の関心がいかに高めるかが大切。

議会にあった委員会の数や委員配置など、総合的に判断して定数を考える必要がある。
議員を減らすことは、悪循環に陥る可能性が高い。

町を運営する、住民（本人）という自覚が必要。
そのため広報・広聴活動が大切。
住民にも自分事として考えてほしい。そのために議会が住民と対話することが必要。



初めてのオンライン研修



初応募で快挙！

Manifesto Awards マニフェスト大賞

優秀賞候補!!

日本最大規模の政策コンテスト「第15回マニフェスト大賞」に添田町議会の取り組みを応募しました。内容は、昨年実施した「住民と議会のカタリ場」を中心に、開催までに至る議会の変化です。

過去最多の2842件の応募の中から、優秀賞候補138件に添田町議会が選ばれました。

さらに上を目指して来年もチャレンジします！



議長ノート

7月19日 香春大任バイパス 開通式典に参加



議会の代表として、活動報告をお届けします(畠田)

今回の開通で、添田町から北九州間の所要時間が10分程度短縮されます。歓遊舎をはじめ、本町の観光振興につながることを期待します。

その他の参加会議

- 7月8日 田川地区斎場組合定例監査
8月6日 田川地区斎場組合議会定例会
8月7日 農業近代化施設運営委員会



1000人にきく

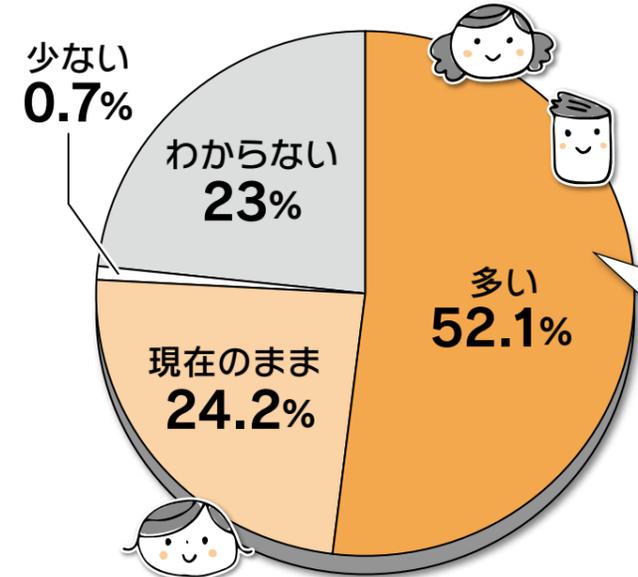
あなた にとっての議会



みなさんからのご意見（抜粋）

- 10年後の人口を見据えた議会の体制を(60代)
- 町民の代表としての矜持(きんぢ)を持った言動を期待(60代)
- 現状をみつめ、レベルの高い一般質問を(40代)
- 出身地域だけでなく、町全体への気配りを(70代)
- 女性議員が少ない(80代)
- 議員の活動がまったく見えない(60代)
- ニーズに合う政策をするなら現定数でよい(30代)
- のんきに議員をしている人は要りません(50代)
- 町長を補佐し、協力して町を活性化してほしい(40代)
- 視察は必要なのか、他の方法で調べては(70代)
- 議員報酬を時給制にしてはどうか(80代)
- 一足のわらじで仕事をしている議員が目立つ(60代)
- 議員報酬を上げ、少数でも若い人が専業可能に(50代)
- 町民個人が気軽に相談できる身近な議員を希望(60代)

Q 議員定数(現在13人)は?



回答者の約半数は議員が多いと回答しました。人口減少に伴い、議員を減らした方がよいとの意見が多くありました。

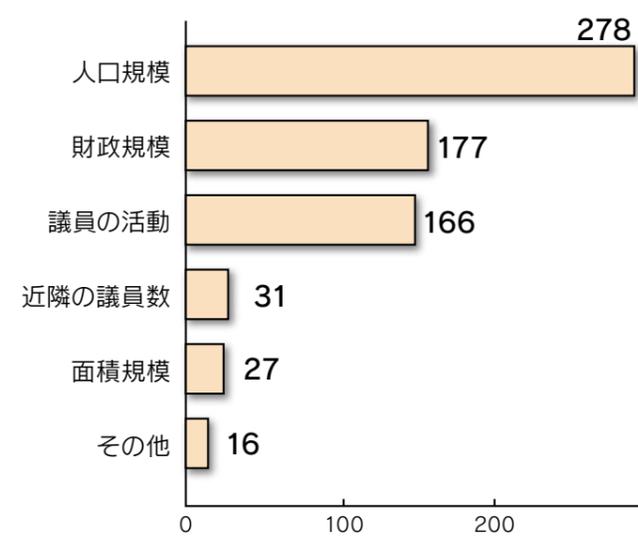
★多いと思う方の理想数

① 10人	112票
② 11人	38票
③ 9人	21票

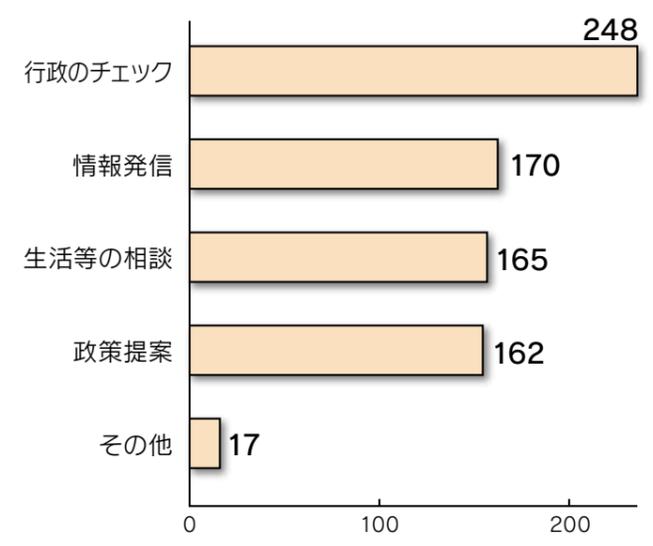


添田町議会議員の定数調査特別委員会(定数委員会)では、議会に対する住民の意見をきくため、アンケート調査を行いました。町内者1000人を無作為で選び、423人からの回答を得ました。

Q 議員定数の判断基準は?



Q 議会(議員)に求めることは?



※複数回答



貴重な意見、今後に活かすのよ!

議員定数は、今回のアンケート結果やカタリ場での対話などを参考に、定数委員会で検討します。

結果を受けて

4割を超える回答率に議会への関心の高さを感じました。ご協力、ありがとうございます。